

つきみ
お月見をしよう

今年の「中秋の名月」、つまりお月見の日は9月21日です。中秋とは昔の暦の8月15日にあたる日で、今年ちょうど満月となります。この日の富山での月の出は午後6時18分ごろ、月の入りは次の日の朝午前6時28分ごろです。つまり晴れていればひと晩中、月を見ることができます。

ところで、皆さんは月の表面のようすに注目したことはありますか？月を注意深く観察すると、白っぽいところと黒っぽいところがあることに気がつきます。黒っぽいところは「海」と呼ばれていますが、その正体は黒っぽい色をした地面です。（玄武岩質のマグマが流れ、冷え固まったもの）。黒い模様は「うさぎが餅つきをする姿」や「カニの姿」、などに見えてきますが、場所により「静かの海」、「雲の海」、「嵐の大洋」・・・などユニークな名前がついています（図）。地名を調べながら模様を見るのも楽しいですね。

また、望遠鏡や双眼鏡を使うと、月の表面のクレーターを見ることができます。クレーターは、昔隕石がぶつかってできた大きなくぼみです。満月のときのおすすめクレーターは「コペルニクス」と「ティコ」です。クレーターの大きさは、コペルニクスが約93km、ティコは約85kmです。富山県の東西の大きさは約88kmなので、とても大きいですね。さらに、ティコのあたりをよく観察すると、放射状に白いすじ（光条）が見えます。このような白いすじがよく見えるのは、ティコが他のクレーターと比べてつい最近（といっても1億年前！）できたわりと新しいクレーターであるためと言われています。月は私達にとって最も身近な天体です。秋の夜長に、お月見を楽しんでみませんか。（竹中 萌美）

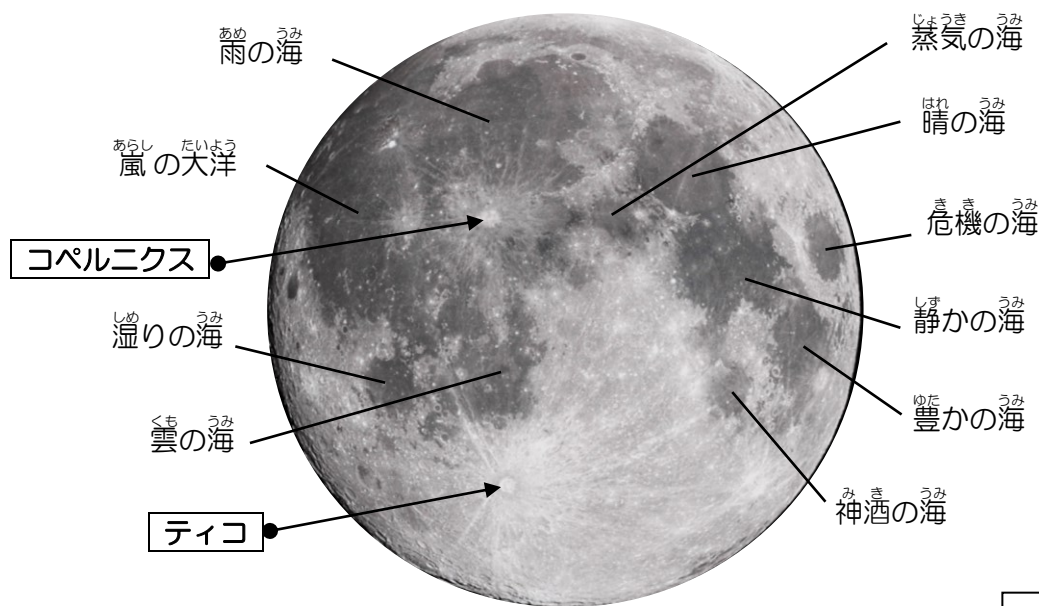


図. 月面の主な模様の名前と満月のところに観察しやすいクレーター

今月のかぐのギモン：月面に着陸した人は今までに何人いますか？
(答えは当館ホームページを見てください)

